



Don-ten no Kiri-ai

本作は、武士の斬り合いを題材にした2人用対戦遊戯です。あなたは武士となり命を懸けた闘いに身を投じ、渾身の振で無事生き抜いてください。

2人用/札16枚/10分

中秋の名月に集いし武士たち。
輝く月を雲が隠すとき、断崖絶壁の上で武士2人が
命を賭して斬り合う。それが曇天/斬合。
今宵の勝者は誰ぞ？

札一覧

攻撃札×6枚(赤青各3枚)

武士札×2枚



移動札×4枚(赤青各2枚)



戦場札×1枚



必殺攻撃札×3枚



札解説

◇ 武士札 (赤、青 各1枚)

自分の分身となる自札です。45度傾けて、戦場札に置いて使用します(裏面参照)。



表……通常状態

裏……負傷状態

※武士は構えが「天」「地」2種類あり、それぞれの構えで出せる攻撃が異なります。また、表と裏は自分の状態を表しており、闘い始めは表(通常)で、1度斬られたら裏返して裏面(負傷)を使い、2度斬られたときに敗北となります。

◇ 戦場札 (1枚)

闘いの舞台となる札です。縦に5つ並ぶ「◇」は「間合い」を表しています。



間合いの数え方



※間合いは武士札同士が重なった状態を「0」とし、1マス離れるごとに1加算されます。

◇ 動作札 (赤、青 各2種 各2枚)

武士札を移動させたり構えを変更したりする札で、何度でも使えます。



近寄/遠退
1歩進む/1歩戻る

構変/飛掛
構えを変更する/
2歩進む

※札を出す際、上下の向きによって効果が変わります(向かって上側が有効)。
※後ろに進めない状態での「遠退」は出せません。

◇ 攻撃札 (赤、青 各3種 各1枚)

相手を攻撃する札で、何度でも使えます。



唐竹

間合い2にいる
相手を斬る

攻撃が
当たる間合い
この場合は
間合い2で当たる

攻撃が
可能になる構え

この場合は「天」の構えのときのみに出せる



斬上

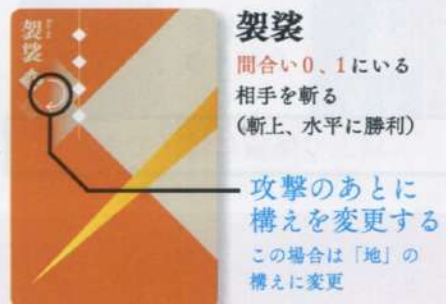
間合い1にいる
相手を斬る

水平

間合い0にいる
相手を斬る

◇ 必殺攻撃札 (3種 各1枚)

強力な攻撃札で、一度だけ使用できます。



袈裟

間合い0、1にいる
相手を斬る
(斬上、水平に勝利)

攻撃のあとに
構えを変更する
この場合は「地」の
構えに変更



斬鉄

間合い2、3にいる相手
を斬る(唐竹に勝利)
構えを「地」から「天」
に変更する。

返斬

相手の攻撃が当たる間
合いに自札があるとき
この札を出していれば
全ての攻撃を斬り返す

闘い方は裏面へ→

闘いの準備

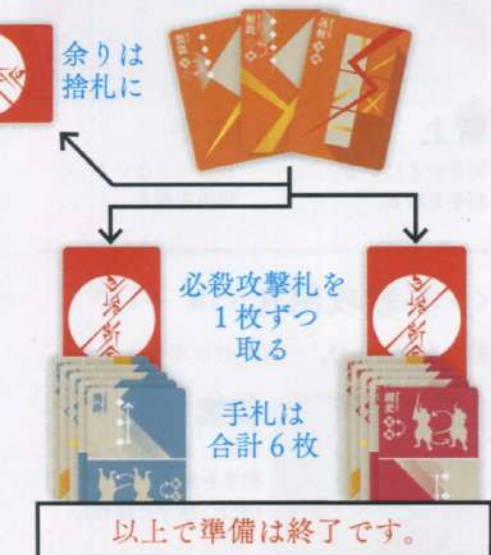
① 戦場札に武士札を置く

まず、自分が使う色の札を6枚受け取ります。次に、自札の色が右側に来よう戦場札を置き、その上に武士札を「天」の構えで配置します。



② 必殺攻撃札を1枚取る

必殺攻撃札を裏向きでよく混ぜて1枚ずつ取ります。残りの1枚は捨札とします。



ルールの確認等
「曇天／斬合」に関する
お問い合わせ

@m_kamiB



カミバヤシ Twitter

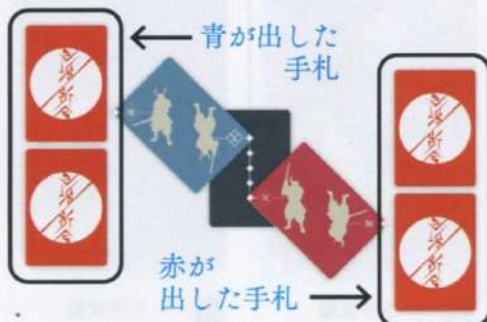
TITANHEADS
2019

闘いの進め方

闘いは4つの手順を繰り返して行います。出す札を決めて、1枚ずつ2人同時にめくり、めくった札の効果を処理していくことで相手に斬り勝つことが目的です。

手順① 手札を2枚選んで置く

手札から2枚、出す順番を決めて上から1枚ずつ、自分の武士札の右に置きます。



手順② 1枚目の札を開いて処理

「せーの」の掛け声で1枚目の札（向かって上）を同時に開きます。開いた札は動作札→攻撃札／必殺攻撃札の順に処理していきます。



○動作札の処理

両者の構えが違う場合：「天」の構えの武士が先に自札を移動させ、次に「地」の構えの武士が自札を移動させます。どちらかが移動歩数に満たず間合い0となった場合、移動はそこで終了となります（相手の後ろには回れません）。

両者が同じ構えの場合：同時に1歩ずつ進みます。例外となる処理は以下を参照ください。

- ・ 間合い3で両者が「飛掛」を出した、または間合い2で「飛掛」と「近寄」が出た場合、両者ともに1歩ずつ進みます。
- ・ 間合い1で「飛掛」と「近寄」が出た場合、「飛掛」を出した武士だけが1歩進みます。
- ・ 間合い1で両者が「飛掛」（もしくは両者が「近寄」）を出した場合、武士札は動かさません。

○攻撃札／必殺攻撃札の処理

動作札の処理後、武士札同士の間合いを確認し、攻撃の当たる間合いにいる武士が斬られます。ただし同じ攻撃札を出していた場合、攻撃は無効となります。なお、間合い2で「唐竹」と「斬鉄」が出た場合など、必殺攻撃札と攻撃札どちらの攻撃も当たる間合いでは、必殺攻撃札が斬り勝ちます。

攻撃が当たった場合：武士札が「通常」なら裏返して「負傷」にします。「負傷」ならその闘いは終了して相手が1本獲得します。

札の処理が終わった時点で闘いが終了していなければ次の手順へ移ります。

手順③ 2枚目の札を開いて処理

2枚目の札を開き、1枚目の札と同様に処理します。

下図の場合、赤の武士は「唐竹」（間合い2にいる相手を斬る）を出していますが、相手が間合い3にいるため攻撃は失敗です。青の武士は間合い2、3にいる武士に当たる必殺攻撃札「斬鉄」を出しているため攻撃は成功です。



札の処理が終わった時点で闘いが終了していなければ、次の手順へ移ります。

手順④ 1枚目に出した札を回収

1枚目に出した札を手札に戻し、2枚目に出した札は、表のまま脇に移動しておきます。

※2枚目に出した札は次の「手順④」で回収できます。
※必殺攻撃札は1度使用したら捨札となります。



札の回収が終わったら手順①に戻ります。これを繰り返し、相手を2回斬ることができれば、斬った武士が1本獲得となり、2本目の闘いへと進みます。

2本目以降の闘いの進め方

闘いの進めかたは同じですが、1本目を落とした武士は必殺攻撃札を任意に1枚選べます。残りの2枚はよく切って相手に渡し、渡された武士は裏向きのまま1枚選び、残りは捨札になります。3本目は1本目と同様に進めてください。

2本獲得した武士が勝者です。

おまけ一人用ルール

1人用ルールは右記2次元バーコードから詳細を参照ください。

